

こんなイイ沢があったのだ

## 二口山塊 穴戸沢高倉沢～エシコ沢

古野

【日時】 2006年10月8日

【メンバー】 鈴木（L）、手嶋、中村、古野

世の中三連休なのに私は土日の休みだけ。しかも台風並みの低気圧が三陸沖をゆっくり進むということで直前までパーティーと行き先が決まらなかった。結局鈴木Pと一緒に日月で二口に。天候と手嶋さんの腰の状態を見ながら日帰りを二本。私は日曜だけで夕食後帰ることにした。

土曜までは風雨が強く自宅近くの磐井川は濁流状態で増水は覚悟せざるを得ない。前夜大行沢出合の駐車場も雨、そして川の音も・・・。

翌日、予定の糸滝沢へ向かう。林道から見える下部の滝は水量も多く、なんと言っても風がやたら強く、木を見ていると船酔いしそうだ。様子を見ようと車で待機。結局しばらくして糸滝沢を断念。戻ってサブ案の穴戸沢の偵察に。そのうち風も収まり、太陽も顔を出してきた。時間的に行けそうな高倉山一周のルートに行くことに。

増水で穴戸沢の渡渉が結構大変、でも浅いところを狙って渡る。高倉沢も水が多くて立派な沢に見える。手嶋さんは久々の沢でちょっとこわごわ、という感じだ。ナメ系の滝が適度に出てきて楽しい。斜面から水がわき出して支沢を作っている所もある。そんな支沢のある10m滝の右壁を登ると真新しい土砂崩れの跡。その先の二俣はどちらか迷った。方向からまだまだ稜線近くには来

ていないと右を選ぶが間違ったようだ。途中から左の鞍部を目指す。岩っぽい壁を登って稜線へ。踏み跡が高倉山に続いている。

鞍部からエシコ沢へ。程なく出会う沢は舗装道路のようなナメ。気持ち良く下っていくと突然前方が落ち込んで見えない。

C640mからの地形図の混んでいる部分だ。ここは連瀑帯になるが中村君が先頭で様子を見てOKの手を挙げる。慎重に下ってホッとすると右の支沢と思ったところに堂々たる30mの豪瀑。水量が多いこともあるがこんな立派な滝が隠されているのか、



としばし感嘆。

「地図を見るともう一カ所C540m付近の等高線も混んでるよね。」というヨミ通りにまたもや立派な滝が。登ると楽しそうだが下りなので右岸の水流近くの木立ちを使って下る。下から見ても規模が大きく谷川湯桧曾川東黒沢の30m滝を思い出した。

ここを過ぎると平凡になり堰提からは踏み跡がある。鈴木さんは堰提の手前で足がついたらしい。穴戸沢を渡ったところにちょうど良い広場があり、車を持ってきてオートキャンプのような雰囲気。

雨がひどくなりテントをたたくがベースキャンプ方式を見越した豪華つまみと食事には大満足。自分は車で今晚中に帰る、と決心して強靱な意志でアルコールの誘惑を断ち切る。「朝帰りしたら」という悪魔のささやきを振り切って帰宅した。

以前から気になつてはいたものの、サブ案でありあまり期待して無く、記録もない沢の割には思いがけずきれいで楽しい掘り出し物の沢だった。増水分を差し引いても春や秋にはお勧めできる。逆コースの方が楽しいだろう。

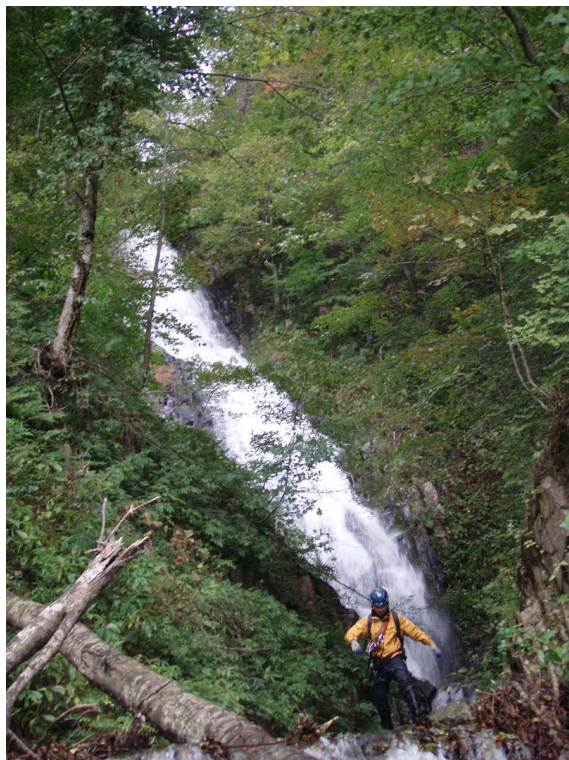
【グレード】 1級上

【行程】

10/8 入溪 (11:40) ~稜線(14:05)~穴戸沢林道(15:30)

【地図】 作並

エシコ沢 30m 滑滝



# 二口山塊 穴戸沢大倉沢～エシコ沢

